

東日本放送は、より地域に開かれたテレビ局を目指し、あすと長町に本社ビルを新築。メインスタジオ、第2スタジオ、報道スタジオ、さらに1階ロビーに多目的ホールを備え、それぞれにRDM双方向通信を備えたスタジオ照明設備を導入。使い勝手が良く、災害にも強い、最新のライティング環境を実現しています。

東日本放送は1975年に開局した、宮城県内で4番目となる民放テレビ局です。この度新設された新社屋は、あすと長町の「杜(もり)の広場公園」に隣接し、2階から4階まで一続きになったガラス張りの階段と、ツイスト状にデザインされた鉄塔が特徴。災害時に放送を継続できるよう最高レベルの耐震安全性と非常用発電設備を備え、杜の広場公園と一体となってにぎわいを創出する「地域に開かれたテレビ局」を目指しています。



【物件概要】
所在地：宮城県仙台市太白区あすと長町一丁目3番15
メインスタジオ面積：約300㎡
メインスタジオ Horizont 高さ：6.5m
構造・規模：鉄骨造・地上4階、塔屋1階建
施工：東日本放送
スタジオ設計：(株)山下設計
施工：建築/ (株)竹中工務店
スタジオ照明設備及び昇降設備/ 東芝ライテック(株)
運用開始：2021年9月20日



メインスタジオ 照明器具には電球色相当のスタジオ用 LED ブロードライト①、LED スポットライト②を採用。報道スタジオでは、昼白色相当の器具を採用。

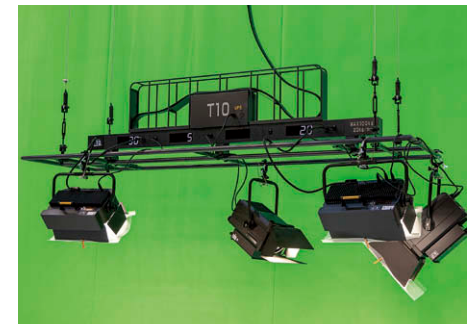
小型・軽量のスマートラスバトンとRDM双方向通信による、自由度が高く使いやすい照明環境。

khb 東日本放送の新社屋において番組制作の拠点となるメインスタジオは、スタジオ面積約300㎡、Horizont高さ6.5m。多彩な演出効果が可能な縦1.5m×横5mの県内最大級となる大型LEDモニターを備えています。昇降設備には、従来よりも小型・軽量化したスマートラスバトンを採用し、照明器具の吊り込み自由度を踏襲しながら、建物への荷重を軽減、セットへの干渉軽減を実現。各バトンの電源数は20A×1回路とし、全15バトン中内6バトンにはUPS電源1回路をプラス搭載することで、万一の停電時でもUPS回路では制御可能な設計としています。

またフロアでは、より広いアクティングエリアを確保するためHorizont壁下に必要最小限の小型フロアトレンチを用意。煩雑になりがちなケーブル類も収納でき、コンセントボックスも目立たないように配置しています。調光操作卓は、LED照明器具とのRDM双方向通信を装備し直感的な操作が可能なスマートコンソールを採用。サブ内に設置した調光操作卓1台で、メインスタジオ、第2スタジオ、多目的ホールのすべてを制御できる設計とし、報道スタジオのみ、緊急ニュースへの対応を想定して単独での制御・操作が可能な設計としています。



メインスタジオ (階段踊り場から望む) 小型・軽量のスマートラスバトンに、LED ブロードライト①、LED スポットライト②を配置し、セットへの干渉が少なく自由度の高いライティング環境を実現。



スマートラスバトン RDM 双方向通信に対応し、液晶表示機能も備えた小型・軽量の特注仕様。



調光操作卓⑤ RDM 双方向通信を備え1台でメインスタジオ、第2スタジオ、多目的ホールの制御が可能。



フロアトレンチ内のコンセントボックス LEDブロードライト(電球色相当)①



第2スタジオ は照明グリッドとコンセントボックスを敷設。照明器具は旧スタジオより移設。



報道スタジオ 独立した制御系としグリッドにLEDブロードライト③、LED スポットライト④を配置。

主な搭載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
メインスタジオ	① LED ブロードライト (電球色相当) (ハロゲン1kW相当)	AL-LED-BRHT-L	30	消費電力：228W
	② LED スポットライト FORTEX 8 型フレネルタイプ (電球色相当) (ハロゲン1kW～2kW相当)	AL-LED-FSG8-L	20	消費電力：246W
報道スタジオ	③ LED ブロードライト (昼白色相当) (ハロゲン1kW相当)	AL-LED-BRHT-W	4	消費電力：228W
	④ LED スポットライト FORTEX 6 型フレネルタイプ (昼白色相当) (ハロゲン500W～2kW相当)	AL-LED-FSH6-W	1	消費電力：115W
サブ	⑤ 調光操作卓 (スマートコンソール)	SC-60	1式	—
照明ラック室	インテリジェント直電源盤	PLUG-IN DIMSTARⅢ	1式	—